

環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業（仮称）

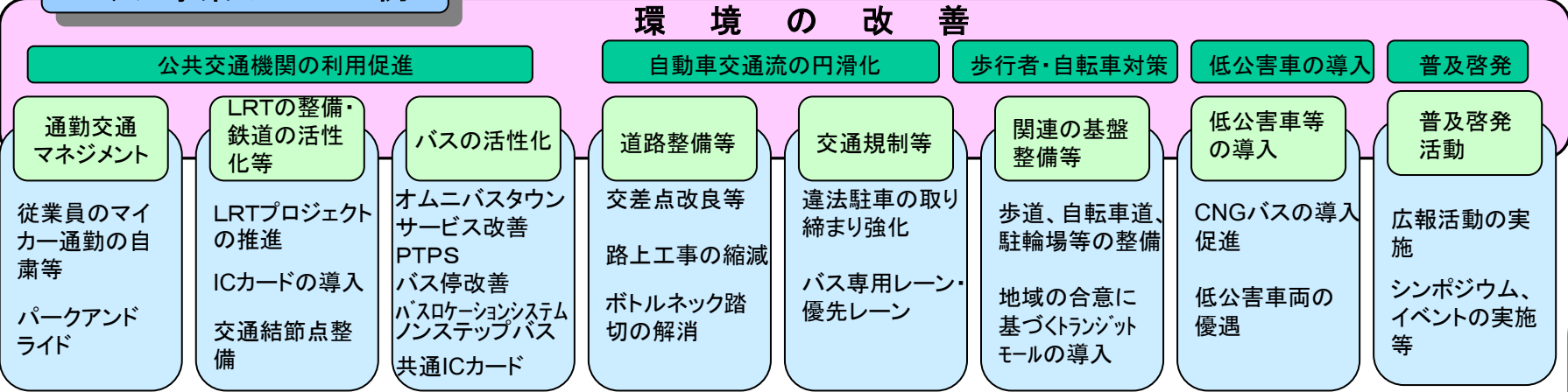
背景

・運輸部門における地球温暖化対策の強化の必要性
 ・意欲ある者（トップランナー）による先進的取組のモデル化と国による集中支援の必要性

EST

Environmentally Sustainable Transport : 環境的に持続可能な交通

モデル事業のメニュー例



モデル事業のポイント

連携	環境の観点から、公共交通とまちづくり等交通流の円滑化、低公害車の導入等のソフト面、ハード面における各主体間の連携
目標設定	環境改善、公共交通機関の利用促進等についての具体的な目標の設定（CO2排出削減量、公共交通機関利用者数 等）
取組の継続性	支援事業終了後も、当該地域において構想内容が継続的に実現されること（事業者等地域における取組主体の継続的・経済的自立性の確保）

推進体制

EST推進協議会（仮称）	地方自治体 地方整備局 地方運輸局	警察 道路管理者 交通事業者	地元経済界 地元商店街 NPO 等
---------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------

地元の幅広い関係者が参加

事業の流れ

